

本庄市議会議員一般選挙公報

本庄市選挙管理委員会

元消防士・救急救命士だからできる政治があります！

本庄出身の消防士・救急救命士として「市民の命と生活」に向き合ってきた現場経験を今度は市政の場で活かします！

原よしのりが取り組む 3つの柱

- ① 防災・医療・・・救急搬送の現場滞在時間の短縮
医療機関との連携強化
災害時の初動対応・情報伝達の見直し
消防・防災体制を支える人材と仕組みづくり
- ② 子育て・教育・・・子育て世代の負担軽減
学校・地域・家庭の連携強化
安心して学べる教育環境づくり
子どもの安全を守る地域の目を増やす取り組み
- ③ 農業・地域経済・・・農業を守り、次の担い手につなげる
地元産業・商工業の活性化
地域でお金と仕事が回る仕組みづくり
地域資源を活かしたまちづくり

原よしのりプロフィール

本庄市出身、45歳。北泉小、本庄南中、本庄第一高を卒業後、埼玉郡市広域消防本部に入庁。2025年3月退職。二児の父。



原
はら
よしのり
無所属

昭和55年5月23日生まれ
45歳

持続可能なまちづくりと選ばれるまちを目指し社会保険料の負担軽減の取り組みと子育て施策の充実を目指す！

医療	国民皆保険制度を守るために、特定健診を受診し、自分の健康状態を知り生活習慣予防に取り組むことは重要。特定健診の受診率アップを目指します！
介護	介護予防・自立支援を促すために、地域全体で支える取り組みとしてはにとれ教室の200教室開催と2本杖の普及を目指します！孤立防止にも繋がります。
子育て	深谷市・上里町では保育料の完全無償化を行っています。保育料の完全無償化と室内遊戯場の設置を目指します！
福祉	障害者・こども・高齢者など、すべての人々が互いに支え合い、自分らしく暮らしていく共生社会を目指します！
おさいふ	企業誘致は雇用の創出や税収増、経済の活性化をもたらし、定住にもつながります。企業誘致の促進とふるさと納税による税収増を目指します！



堀口
はりぐち
よしあと
無所属

昭和42年1月13日生
(59歳)

この本庄市に明るい未来を!!

元金融マン、現在社会保険の専門家の経験を生かして、市民の皆様のお声を市政に政策提言致します。

- 移住促進と子育て支援
- 学力の向上と医療体制の充実
- 災害対策

プロフィール

埼玉県立本庄高等学校卒業
慶應義塾大学法学部卒業
埼玉県信用金庫退職
社会保険労務士開業

保有資格

社会保険労務士
宅地建物取引士
ファイナンシャルプランナー2級
ホームヘルパー2級 他

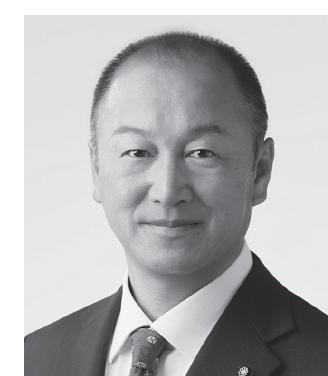


おがの
けんじ
無所属

昭和28年1月23日生
(73歳)

私は必ず実現させてみせます 上武飛行場(空港)とこの政策を!!

物価高騰と水道料金の値上がりで生活も商売も深刻！	籠原駅の乗り換えが不便！
水道料金の基本料金免除の継続	籠原駅停まりを解消し本庄駅まで延伸
国の物価高騰対応臨時交付金を充当して令和7年9月からの4ヶ月間水道基本料金を免除してきました。経済的負担の軽減を図る事目的とする事業のため今後も継続が必要です。国の交付金の活用だけではなく本庄市独自の施策も必要！	高崎線籠原駅停りを高崎駅まで延伸し、乗り換えせずに本庄駅までごられるよう要望活動を行っております。交通政策及び観光政策特別委員会は私が議長の時立ち上げ、以降委員長として議会と執行部が一丸となりJRに何度も要望活動を行っております。
通勤時や救急搬送時の国道254号渋滞！	本庄駅駐輪場の負担が大きい！
国道254号バイパス化	無料化への第一段階として25%学生割引
国道254号の藤武橋と国道462号の神流橋では時間帯により慢性的な渋滞が発生します。群馬県への救急搬送の際、渋滞により大切な人の命が脅かされることが危惧されます。両橋梁は老朽化が進み、群馬県境に新たな橋梁とバイパスが必要です。今後も254号バイパス化に向けて更に尽力してまいります。	年間35,000人が利用する本庄駅駐輪場を無料にしたい！一般質問を繰り返し行い、学生割引が実現！無料化に向けて更に頑張ります！
ご覧ください↓	フ朝日に挑戦!!
	◎主な経歴 ・平成16年 1期目当選 32歳 ・平成18年 2期目当選 34歳 ・平成22年 3期目当選 38歳 ・平成26年 4期目当選 42歳 ・平成30年 5期目当選 46歳 ・令和4年 6期目当選 50歳 ・令和2年～ 議会議長 48歳
	趣味 登山 クライミング アマチュア無線



広瀬
ひろせしん
伸一
無所属

昭和47年1月25日生
(54歳)

「市民の声を力に。」現場から動かす市政。

子どもの居場所を、もっとあたり前に。

- 「放課後や休日に行ける場所」が、どの地域にもある本庄市へ。
- 駄菓子屋・子ども食堂・学習支援・寺子屋など、地域の力をいかした居場所づくりを、目指します。

学童・学校・保育の現場目線の改善を。

- 働く保護者が安心できる学童のさらなる充実。
- 特別な配慮が必要な子どもへの支援が行き届くよう、人員配置や専門人材の確保について、国・県への要望も含めて取り組みます。
- 教職員・保育士等の労働環境改善に努めています。

高齢者の「生きがい」と「居場所」「移動手段」を守る。

- デイサービスや地域サロンと、子どもの居場所機能を組み合わせ、世代間交流が生まれる場づくりを目指します。
- デマンド交通やタクシー利用支援など、外に出やすい移動の仕組みづくりを改善・拡充していきます。
- 生活して暮らせる生活道路の整備を推進。

若者が「戻って来たくなる本庄」をつくる。

- 高校生・大学生・若手社会人が地域に関わるプロジェクトを拡充。
- 本庄市で育った、また携わった若者が、外で経験を積んでまた本庄に戻って来なくなる一循環を生む「若者政策」を進めます。
- 若者が本庄市で働ける環境をつくるための企業誘致や中小企業の底上げ。

まちづくり暮らしの安心

- 通学路の安全対策・整備の充実
- まちの灯りを守ります。(商店会街路等の管理等)



やのまただじ
無所属

昭和52年10月20日(48歳)

つなごう豊かさ。
共に、新時代を。



山口
やまと
ゆたか
無所属

一九六九年十二月十六日(五十六歳)

本庄市議会議員一般選挙公報

本庄市選挙管理委員会

動いた分だけまちは変わる

よく聞かれる声として…

交通の利便性、安定した気候など恵まれた土地にも関わらず、なぜ発展しないのだろう?その理由としてこの地の特性を活かしたまちづくりや先行投資ができるない。加えて国の減税の流れにより地方交付税交付金の減額が予想される。これにより地方自治体は厳しい時代を迎える。それには、適切な取扱選択が必要でしっかりと優先順位を決めての政策を実行すべきである。



重点政策として提案し実現を目指します!

- 拠点づくり
防災庁誘致、防災道の駅設置、自然と調和した施設の充実、市内3駅をつなぐ交通網の整備
- 地域教育
子育てのしやすい環境づくり、郷土愛醸成、まちづくりの担い手の育成
- 移住定住のためのシティプロモーション
企業誘致の強化、ふるさと納税の戦略の見直し、稼ぐまちの実践



山田やすひろ
やまと
やすひろ
無所属

昭和四十二年十一月十三日(58歳)

みんなの声とともに いつも笑顔でパワフル!

「物価高騰で生活が苦しくて大変」という声がこれほど多く寄せられる選挙はありません。だからこそ、給食費も保育料も一日も早く完全無償化の実現をさせたいと思います。住み続けられる本庄市へ。みんなのお力を貸してください。

私の約束

- ◆保育料・小・中学校給食費の無償化を実現
- ◆水道基本料金無料化を実現
- ◆高すぎる国民健康保険税の軽減を実現
- ◆住宅リフォーム助成制度の創設を実現
- ◆教材費の負担軽減を実現
- ◆公共交通の充実を実現
- ◆体育館へのエアコン設置を急いで実現



植沼あや子
あや子
日本共産党
かきぬま

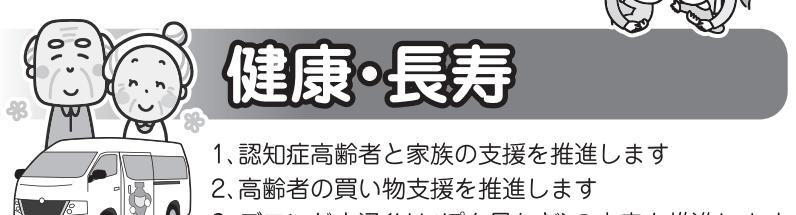
物価高騰対策に消費税5%減税を!

- 1952年生まれ●東京学芸大卒●都内で20年小学校教諭
- 市議会議員5期20年●家族は夫と3人の息子、栄在住

3つの「応援」を 目指します!

子育て・教育

- 1.子育ての支援対策を推進します
- 2.通学路の安全対策を推進します
- 3.若者の暮らしを応援します



健康・長寿

- 1.認知症高齢者と家族の支援を推進します
- 2.高齢者の買い物支援を推進します
- 3.デマンド交通(はにほん号など)の充実を推進します

安全な暮らし

- 1.防災道の駅の建設を推進します
- 2.空き家・空地対策を推進します
- 3.老朽化した社会インフラの整備を推進します



粟田
くりた
ひろし
公明党公認

昭和36年7月1日生まれ(64歳)

走れ! 地域で共に育み、 共に育つ街を!

選ばれる街・本庄へ

—働き、暮らし、住み続けたい街をつくる—

安心して子育てできる本庄へ

—子ども第一のまちづくり—

一生住みたい本庄へ

—安心・快適な生活インフラを整備—

共に育て、共に育つ街、本庄へ

—子どもも大人も支え合う“共育社会”—

門倉道雄 プロフィール

1960年(昭和35年)2月6日本庄市に生まれる。65歳/本庄市立西小・西中学校卒業/埼玉県立本庄高等学校卒業/日本大学経済学部経済学科卒業(人口論専攻)/トヨタオート西埼玉(現ネッツトヨタ埼玉)/小暮自動車(スキ)ホンダカーズ熊谷勤務/現在、保険代理店カサリンカーライフアドバイザー

現在の役職 本庄ピクトリーズスポーツ少年団代表/(ミニバスケットボール)20年表彰/末広町自治会顧問/本庄市バスケットボール協会会長/総務常任委員会 委員長



門倉道雄
かどくらみちお
かどくらみちお

子どもを育て やさしいを育てて まちおこし

「こやし」で育てる本庄市

- 1.保育料無償化
若い世帯が安心して「子育て」できる体制作り 移住者に選ばれるまち

2.「個」に寄り添った教育の拡充

長年の教員生活の中で培った経験・人脈をフル活用「個」育てに励み、「孤」育てにならないよう保護者同士の繋がりを重視、母親目線の施策

より良い教育支援体制の構築 不登校児童生徒対応 特別支援学級指導等の充実

3.地域一丸となった「子育て」

教職員・地域の指導者・学生・企業・公民館活動等、地域で一丸となって支える本庄市ならではの「部活動地域展開」

4.大切な農地を次世代へ

農地中間管理事業の推進 高齢化 後継者不足 遊休農地拡大等諸問題の解消

5.農業の活性化

道の駅 農園ホテル 農園レストラン 耕畜連携 農福連携
幼保小中連携 新規就農者研修センター つながり高めあえる関係作り

6.「歴史と文化のまち本庄」創生

郷土の偉人堀保己一翁の偉業に学ぶ、地域にある貴重な文化財・文化人の発掘 継承公民館活動等の活性化

7.児童地域の活性化

児玉駅周辺 雄岡城跡 豊かな里山 貴重な文化財 地域の魅力再発見

8.まちの景観は文化レベルの象徴

美しい花のある町並み 市民がつくる市民のための花の公園

空き家・空き地対策



倉林ますよ
無所属

昭和三十五年一月五日(65歳)

物価高を乗り切る!

①水道料金の引き下げ

令和8年度から職員採用試験の年齢制限を撤廃。採用機会を全世代へと拡げることで、就職困難世代を救済すると共に、育児や介護を終えて社会復帰する人を支援します。

②市職員採用の年齢制限撤廃

令和8年度から職員採用試験の年齢制限を撤廃。採用機会を全世代へと拡げることで、就職困難世代を救済すると共に、育児や介護を終えて社会復帰する人を支援します。

③本庄駅周辺の再開発を前進

4年の任期内で駅周辺再開発に着手。本庄の玄関口として通勤・通学で使いやすい動線を整備し、新しい店舗や職場を創出します。

④道路拡幅と歩道設置

4年の任期内で駅周辺再開発に着手。本庄の玄関口として通勤・通学で使いやすい動線を整備し、新しい店舗や職場を創出します。

⑤県庁舎や大字病院誘致

4年の任期内で駅周辺再開発に着手。本庄の玄関口として通勤・通学で使いやすい動線を整備し、新しい店舗や職場を創出します。

丸橋知文の政治姿勢

減税を中心とした負担軽減策で、誰もが恩恵を受ける政治を目指す。日本大学法學部公共政策学科行政職課程卒業します。高市政権や埼玉県・周辺自治体との信頼関係を深め、連携して物価高対策に取り組んでいます。



まるはしともふみ
まるはしともふみ
平成2年4月7日生まれ
無所属

本庄市議会議員一般選挙公報

本庄市選挙管理委員会

無所属
昭和59年7月21日生まれ
41歳
出牛 じゅんいち

3つの「守る」
を目指します！

未来を担う
子どもを守ります！

- 子どもの貧困対策を推進します
- ヤングケアラーの支援を推進します
- 発達障がいをもつお子さんの支援を推進します

公明党公認
昭和51年6月12日生まれ
(49歳)
あさひな ちえこ

國民民主党
昭和63年8月1日生
(37歳)
うちだ えいすけ

【本庄（本領）発揮】

「市内生活環境整備・改善」
「子育て＆教育＆放課後教育」
「市道整備＆通学路整備」
「空き家対策＆防災・災害対応」
を重要項目として活動します。
一期目＝厚生文教常任委員長
二期目＝建設産業常任委員長
副議長
三期目＝給食組合議会議長
広報公職委員長
四期目＝議長
広域市町村圏組合議長
『本庄市身体障害者福祉協会監事』
『福祉・支援ボランティア団体代表』
『本庄市子ども会育成会連合会会長』
『本庄市コミュニティ協議会会長』
『本庄まつり保存会会長』
『本庄市環境推進委員』
『スポーツ推進委員』
等の活動に参加させていただき、
皆さんと一緒に汗をかき、市内の状況把握に努め、現場で動く市議会議員をモットーに活動していきます。
皆さまのご指導、ご支援よろしくお願い申し上げます。

富田まさとし
昭和三十六年十一月十六日生（六十四歳）
無所属
富田まさとし

29歳
1996年9月13日生まれ
図師雄太

夢に向かって

日本人が本来大切に育んできた美德、美風を取り戻し夢と希望

○伝統・文化・歴史の維持 ○安心・安全な生活の保障

共に生き共に支え合う助け合いの精神がはぐくまれていきます。

○温かみのある地域社会の復活 ○農業の推進

地域ぐるみで子育て支援や介護サービスの充実、更には地域の伝統・文化の継承をします。

早野きよし
早野きよしプロフィール
●(本庄市立藤田小学校・本庄市立東中学校・児玉高校)卒業
●元児玉小学校PTA会長・元児玉中学校PTA会長
●元児玉町体育協会副会長・元児玉町スポーツ少年団団長
●児玉少年野球初代監督
●児玉町議会議員4期・本庄市議会議員5期・本庄市議会議員第5代・9代
●児玉都市広域議會議員・元本庄上里学校給食組合議会議員
●古伊万里学習塾塾長(平成3年開塾)

本庄市議会議員一般選挙公報

本庄市選挙管理委員会

7つの提案

つながる・つなげる・まち
行政の経験と
女性の視点を
活かします！



① 健康寿命をのばし元気なまちへ

身近な場所に、運動や食の知恵、人生の経験を活かせる交流の場を広げ、健康寿命の延伸をめざします。

② 子どもの笑顔はまちの原動力

安心して妊娠・出産・子育てができるまち、地域で子育てを応援し、子どもの笑顔があふれるまちへ。

③ みんなの個性が輝く本庄市へ

障害や育児、孤立に悩む人の「声にできない声」をつなぎ、誰もがずっと安心できる本庄市へ。

④ つながる場があるまちへ

若者、子育て世代、シニア、誰もが気軽に情報交換やチャレンジができる場を拓けます。

⑤ 地域資源を磨き誇れる本庄市

宿場町の歴史やまつり、関瀬ダム等本庄の歴史が紡いできた地域資源を守り、磨き、誇れるまちへ！

⑥ 都市間交流の推進で本庄市を元気に！

官民協働で市街地と里山の魅力を発揮した都市間交流を進め、「本庄のファン」を増やし地域を元気に！

⑦ 持続可能な本庄市の財政運営

事業の優先順位を精査します。高いアンテナを持ち財源の確保と「稼げるまちづくり」を進めます。

経歴

1961年(昭和36年)本庄市七軒町で酒類小売販売業の子として生まれる。本庄市立本庄西小学校、

本庄市立本庄西中学校、埼玉県立本庄高等学校卒業後、本庄市役所入庁。秘書広報課長、経済環境部

次長、福祉部長を務める。定年退職後、児玉総合支所(環境産業課)勤務後退職。

現在

埼玉県立本庄高等学校同窓会理事。

はら
原
ふみこ



今日より明日へ 確かな未来に向かって

教育環境の整備・充実を目指します！

長年、教職についていた経験を活かし、ICT教育推進のための機器の充実や学校施設を含む公共施設の見直しの適正化など本庄市の教育に教育環境の整備の視点から支援していきます。

全ての市民の人権が守られ尊重される社会を目指します！

人間は一人一人違います。その違いをお互いに認め合い多様性が受け入れられる社会の実現が課題です。私の長男は発達障害をもっています。障害をもつ子の親として、障害者の安心した生活を実現していきます。

本庄市全体がバランスよく発展する街づくりを目指します！

中心市街地や本庄駅南口以南は新幹線の駅等を中心開発されました。そこで、国道17号線以北や児玉地域にも本庄市全域が活力のあるまち、子どもたちが愛着をもてるまちとなるように取り組みます。



か
と
う
加
藤
え
い
じ
昭和40年7月23日生まれ

本庄の未来を拓く！次の世代へ 『本庄に住んで良かった。』 そう思える暮らしへ

全世代が輝く「地域共生社会」の実現

1 地域再生

伝統文化を活かした
地域の絆を繋ぐ

2 安心安全

災害に強い！
安心の地域へ

3 生涯現役

誰もが孤立しない
全世代の安心を守ります

4 防犯強化

犯罪を寄せ付けない
安心できるまち

経歴

1971(昭和46)年、本庄生まれ。本庄東中学校、埼玉県立児玉農工高等学校機械科卒。

高校卒業後、プロゴルファーを目指し児玉カントリー倶楽部に勤務後、粉体加工工場で工場長を勤める。

現在は株式会社信栄工業にて鉄骨加工の業務に従事。妻と子どもの4人暮らし。本庄在住。

や
山
田
たかふみ
無所属
54歳
S46年6月20日生

● 「儲ける」と「稼ぐ」似た様な言葉です。「儲」の字は「人」と「言」と「者」でできており、「人と人が言葉を介し利益を得る」意味だそうです。コミュニケーションで利益を得るということでしょうか。一方「稼」は「禾」「家」で「家のために稲を得る」という意味で、「労働」がそこにはあります。どちらも利益を得ることですが、それぞれにメリットとデメリットがあります。「コミュニケーションによる利益」、例えば投資は、肉体的な負担は少ないがリスクを伴います。反面「労働による利益」にはリスクは少ないが肉体的な負担や時間的な束縛が考えられます。国は「貯蓄から投資へ」とその方針を変えて「儲ける」ことを推奨しています。

私たちも本庄市が「儲かる」場所であることを願っていますし、

また同時に「稼ぐ場所」「稼げる町」であってほしいと思っています。

そのため町はリスクのマネジメントとともに、利益を得る為の「場所」「もの」「環境」そして「人」を育ててゆかなければなりません。

100年後の本庄市のために

● 変えなきや未来は動かない



無所属
昭和41年5月1日59歳
田中てるよし